

2019年8月9日

コーポレートベンチャーキャピタルの投資枠を120百万米ドルに拡大します

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社（取締役社長 グループCEO：柄澤 康喜）は、2018年6月に米国シリコンバレーに設立したコーポレートベンチャーキャピタルである、MS&AD Ventures Inc.（以下、CVC）の投資枠を、新たに最大で80百万米ドル（約90億円）拡大します。これにより、設立時の投資枠40百万米ドルと合わせて、総投資枠が最大120百万米ドル（約135億円）となります。

CVCは、2018年10月に投資業務を開始して以降、エコシステムの中心であるシリコンバレーから世界中の先端テクノロジーを有するスタートアップ企業に9ヶ月間で20社（米国12社、ドイツ4社、イスラエル1社、英国1社、インド1社、シンガポール1社）への投資を実行してきました。今回の投資枠拡大は、今後も積極的な投資を通じて、オープンイノベーションによるデジタルイノベーション推進を図るためのものです。

当社グループは、CVCを通じた投資業務により、グループビジネス全体の変革につなげ、お客さま体験価値の向上を目指していきます。

1. 投資枠の拡大について

- (1) 金額：最大80百万米ドル（約90億円）
※設立時からの総投資枠は最大120百万米ドル（約135億円）
- (2) 実行時期：2019年7月

2. CVCの概要

- (1) 名称：MS&AD Ventures Inc.
- (2) 所在地：米国・カリフォルニア州メンローパーク市
- (3) 株主：MS&ADインシュアランスグループホールディングス 100%
- (4) 投資対象：当社グループとシナジーの発揮を狙えるスタートアップ企業 ※
※保険・金融サービスに関連する、アーリーステージ（創業後期から成長初期まで）を中心とした海外スタートアップ企業
- (5) 投資実績：投資件数20件（2019年6月末現在）
- (6) Web Site：<https://msad.vc/>

3. 投資枠の拡大の理由と今後の展開

近年、保険業界では、将来起こり得るディスラプション（破壊的創造）と呼ばれる革新的なイノベーションに対応するため、世界中で新たなテクノロジーの開発が活発に行われています。

当社グループも、サイバーセキュリティに強みを持つルシデウス社（インド）やブドゥー社（イスラエル）、天候変動によるリスク分析に強みを持つジュピター社（米国）など、サイバーセキュリティ、モビリティ、AIデータ分析、デジタルプラットフォーム等の各分野に強みを有する海外スタートアップ企業へ積極的な投資を実行してきました。今後もCVCを通じた投資活動を継続し、最先端テクノロジーと国内外グループ各社の強みを組み合わせた独自の商品・サービスの開発を促進することで、グローバルで競争優位なポジションを確立していきます。

MS & ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社について

MS & ADホールディングスは、三井住友海上火災保険株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社などのグループ保険会社を有する保険持株会社です。グローバル市場での業界トップ水準の保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、「活力ある社会の発展と地球の健やかな未来」を実現する価値創造企業として、世界 47 の国・地域で事業展開しています。未来のあるべき姿を目指し、ステークホルダーの皆さまと、社会的な価値の共創に取り組んでいます。当社グループのミッションである「安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来」を目指し、快適なモビリティやレジリエントなまちづくりの実現に取り組んでいます。社会と新たな価値を創造するために、最新の技術を駆使して、新しい時代の安心と安全をグローバルに提案していきます。

www.ms-ad-hd.com

以 上